

競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は 2025 年日本陸上競技連盟競技規則と本大会申し合わせ事項により行う。

- (1) 審判長および競技役員はいつでもシューズチェックをすることができ競技者はその指示に従わなければならない。明らかに規則・規程違反のシューズや疑わしいシューズはチェックや回収の対象になることがある。競技後にシューズの違反が認められた場合は、審判長が「失格」と判断し、記録が取り消される場合がある。

競技用靴・靴底の厚さに関する規定 (TR5.3) 【2024 年 11 月 1 日以降】

種 目	ソールの最大厚さ	その他の要件 / 注意
トラック種目 ハードル種目 障害物競走	20mm スパイクシューズ または ノン・スパイクシューズ	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは道路競技と同じとする。
フィールド種目	20mm スパイクシューズ または ノン・スパイクシューズ	全跳躍種目で、競技用靴に関する規程 10.3 および 10.4 に記載のとおり、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない(前足の中心は、靴の内部の長さの 75%にある靴の中心点。踵の中心は、靴の長さの 12%にある靴の中心点)。
道路競技(競走・競歩)	40mm	
クロスカントリー	20mm スパイクシューズ または 40mm ノンスパイクシューズ	競技者はスパイクシューズまたはノン・スパイクシューズ(ロードシューズなど)を履くことができる。スパイクシューズを履く場合、靴底の最大の厚さは 20mm を超えてはならない。ノン・スパイクシューズを履く場合、靴底の最大の厚さは 40mm を超えてはならない。
マウンテンレース トレイルレース	制限なし	

重要告知

競技用靴に関する規程 5.3 に従い、2024 年 11 月 1 日以降、靴底厚が上記の表に記載されている最大の厚さを超える既存靴は承認されなくなり、競技会では着用できなくなっている。

- (2) 招集所および競技エリア内でスマートフォン・携帯電話・タブレット等の通信機器や録画再生機器等を所持・使用することはできない。(TR.6.3.2)
- (3) 当該種目出場の競技者以外は、競技区域に立ち入ることができない。また、競技者は招集完了後競技終了まで、当該競技役員の許可なく競技区域から離脱してはならない。

2. 競技場への入場について

- (1) 正面スタンド1F および2F入口を開放する。
- (2) 入場証は不要とするが、各校顧問が入場者の把握に努めることとする。
- (3) 観戦は学校関係者のみとし、入場時や観戦中に各校との関係について確認をすることがある。

3. 競技場の使用について

- (1) 横断幕、ノボリの設置は南北の芝スタンド(土盛スタンド)後方およびバックスタンド後方のみとする。
- (2) テントの設置は、メインスタンド通路より上側(屋根のあるエリアを除く)、または芝スタンド・バックスタンドに設置し、ロープ等が通路に掛らないようにすること。
- (3) 使用した場所は各学校で責任を持って清掃し、ゴミ等は必ず持ち帰ること(帰路では捨てない)。
- (4) トラック・フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用は禁止する。
- (5) 更衣室は更衣のみの利用とする。使用時間は1人10分以内。また、清潔に使用し私物を置かないこと。

4. 練習について

- (1) 練習はバックスタンド後方(東側)の練習走路を使用すること。走る方向は北から南の一方通行とし、逆走は禁止する。学校・個人のハードルやラダーなどは持ち込まないこと。また、ゴムチューブなどを使ったスピード練習は禁止する。また、危険防止のため日傘の使用は禁止とする。
- (2) 公園内でのリレー練習は一切認めない。また公園内でのスピードを出しての練習も禁止とする。
- (3) 競技場および公園内は、メディシンボール等の物を投げる練習は禁止する。
- (4) 投擲・跳躍競技は準備が整った後、競技役員の指示で練習してもよい。
- (5) 競技開始前のトラックでの練習については、次のとおりとする。

競技開始前の競技場での練習について

競技会開始前の競技場(トラック)での練習は、周囲の動きに十分注意して行うこと。
ただし、練習可能時間内であっても競技会準備を優先とし、競技役員の指示に従うこと。
なお、競技場での練習は、1日目・2日目ともに8時30分までとする。
なお、安全のため日傘の使用を禁止する。

※いずれもジョグはレーン外で ・ 1、2レーンは長距離ペース走用

【1日目】

○ホームストレート

3～6レーン = コーナーからのスプリント練習

7～9レーン = 直線からのスプリント練習

○バックストレート

3～6レーン = リレー練習

※リレーバトン練習は 1→2 走 ・ 3→4 走は第2コーナー、

2→3 走は第3コーナーで行うこと。

各校で使用したリレーのマーク(テープ)は必ず取り除くこと。

7レーンは使用しない(接触等の防止のため)

8レーン = 女400mH 9レーン = 男400mH

【2日目】

○ホームストレート

3～5レーン = 直線からのスプリント練習

6・7レーン = 100mYH 8・9レーン = 110mJH

○バックストレート

3～6レーン = コーナーからのスプリント練習

7～9レーン = 直線からのスプリント練習

5. 招集について

※招集所へのスマートフォン・携帯電話等の通信機器の持ち込みは禁止する。

※下記の時間帯に招集を完了できなかった場合は出場できない。

- (1) 招集場所は室内練習場とする。
- (2) 招集は競技開始時刻前の下記時刻で行う。

招集時間	トラック	跳 躍	投てき	棒高跳
開始時刻	30 分前	50 分前	60 分前	80 分前
完了時刻	20 分前	40 分前	50 分前	70 分前

- (3) 競技者は招集開始時刻には招集場所にて上半身競技服装になり、競技者係より点呼を受け、アスリートビブス・腰ナンバーカードおよび競技で使用するシューズの確認を受けてそのまま待機し、招集完了時刻に競技役員の指示により移動すること。
- (4) 招集の代理は認めない。ただし、招集時間帯に競技が行われる可能性がある場合には、**第1種目の招集開始時刻までに「多種目同時出場届」**を招集所へ提出すること。なお、第1種目は招集を受けなければならないが、提出をした第2種目は代理をたてる必要はない。提出時には、ユニフォーム・アスリートビブス・競技で

使用するシューズの確認を受けること。

(5)リレー種目について

- ・オーダー用紙は第1組の招集完了時刻の 60 分前までに競技者係へ提出すること。
 - ・リレーの招集は 4 人揃って受けること。ただし、他種目に出場している時は「多種目同時出場届」を提出することで、代理を立てる必要はない。提出時には、ユニフォーム・アスリートビブス・競技で使用するシューズの確認を受けること。
- (6)やむを得ず欠場する場合は、プログラムにある欠場届を競技者係へ提出すること。
- (7)点呼後、招集所から競技場内へ移動する場合、競技役員や補助員の指示に従うこと。

6. 競技について

- (1)アスリートビブスは必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。
トラック種目では、腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。4×400mリレーの 第2・第3 走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつけること。
- (2)スパイクのピンは、本数は11本以内とし、9mm以下の全天候競技場用のものを使用すること。ただし、走高跳・(やり投)については12mm以下とする。また、スパイクの直径は先端近くで少なくとも長さの半分は4mm 四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (3)トラック種目では、すべてタイムレースとするが、100mは決勝レースを行う。
- (4)トラック競技でフィニッシュした競技者は本部前を通らず、競技場内のバックスタンド前を通してスタート地点に帰ること。
- (5)競技エリア内にビデオ装置、携帯電話、スマートフォン、タブレット等の電子通信機器等を持ち込むことはできない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技の映像をコーチ席以外の場所からの提示により見ることは認めない。メインスタンド前ピットで行われる走幅跳・三段跳では、録画再生機器等をメインスタンドの指定されたエリアから大会本部が用意した吊り下げ紐付き袋を使用した場合のみ、それ以外の場所での跳躍競技および投擲種目では、コーチ席前の指定されたエリアの中で、録画映像を提供する者から受け渡し可能な範囲であれば、競技者は撮影した人とコミュニケーションを取りながら録画再生機器を手にしてもよい。ただし、通信通話機能の使用は競技規則により禁止である。
- (6)集団での声援（応援）及び不正な助言行動は自粛すること。
- (7)フィールド種目について

①トップ 8 を行う。

②跳躍種目はセクションラインを設ける(走幅跳・三段跳は、1 回は全員計測)。

○走高跳【男子】1m50 【女子】1m25 ○走幅跳【男子】5m20 【女子】4m20

③走幅跳は 1 組（メインスタンド前トラック側）、2 組（メインスタンド側）で行う。

三段跳は 1 年生（メインスタンド前トラック側）、2 年生（メインスタンド側）で行う。

走高跳は第一曲走路内側で行う。棒高跳は第二曲走路外側の北ピットで行う。

④バーの上げ方は下記のとおりとする。※走高跳・棒高跳ともに練習の高さは当日現地で決定する。

男 走高跳	練:現場判断 / 1m50 1m55 1m60 1m65 1m70 1m75 1m80 以降 3cm
女 走高跳	練:現場判断 / 1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 1m50 以降 3cm
男 棒高跳	練:現場判断 / 2m82 3m02 3m22 3m42 3m62 3m82 4m02 以降 10cm
女 棒高跳	練:現場判断 / 2m02 以降 10cm

(8)フィールド競技の試技制限時間(単独種目)

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4 人以上※	1 分	1 分	1 分
2～3 人	1 分 30 秒	2 分	1 分
1 人	3 分	5 分	—
連続試技※※	2 分	3 分	2 分

※4 人以上または各競技者の最初の競技は 1 分とする。

※※残っている競技者が 2 人以上の時に適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。

7. やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。やりの検定は、競技開始時刻の 90 分前より 30 分間、用器具庫前(メインスタンド下南側)で行う。
8. 免責事項について
- (1) 競技中に生じた事故については、応急処置の他一切の責任を負わない。
 - (2) 競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。
 - (3) J アラート警報が発令された場合や雷時には、競技を中断・中止する場合がある。その場合は参加料の返金はしない。
9. その他
- (1) 顧問の受付がない学校の競技者の出場は認めない。
 - (2) プログラムは、配布しないので各校で印刷準備すること。
 - (3) 競技日程はプログラム記載のものを確認すること。HPにUPされているスタートリストの競技開始時間は参考なので、必ず競技日程を確認すること。
 - (4) 補助員は各校 1～2 名出ること。補助員分担は別頁に記載してある。
 - (5) 記録は、電光掲示板およびWEB ページで確認すること。(記録ボードは設置しない)
 - (6) 撮影は許可証(正面玄関 1F 入口で発行)を必要とし、当該生徒のみの撮影とする。
 - (7) 声を出して応援するときは、前後の間隔に配慮すること。
 - (8) 盗難が発生しているため貴重品等の持ち物の管理は各校・各自で注意すること。
 - (9) 2日目(21日)の開門抽選は、20日(土) 13:00～13:15の間に1階エントランスで行う。
 - (10) **大阪高校総体 1 日目(8/18)の開門抽選は7月 21 日(月) 13:00～13:15の間に 1 階エントランスで行う。**

第 80 回大阪高等学校総合体育大会陸上競技の部（中央大会）について

日程：8 月 15 日（金）・8 月 18 日（月）・8 月 19 日（火）・8 月 20 日（水）

場所：ヤンマーフィールド長居（15 日）・万博記念競技場（18 日・19 日・20 日）

※各地区からの進出数はすべての種目でシード選手・チームを含む合計数とする。

1. **大阪高等学校総合体育大会陸上競技の部（大阪高校総体）** への出場者は以下のとおりとする。
- ①100m・200mは、1・2 地区で上位 24 名、3・4 地区で上位 24 名の合計 48 名。
○決勝を実施する 100m の選出について
・決勝各組 6 着の合計 24 名
 - ②400m・800m・1500mは 1・2 地区で上位 20 名、3・4 地区で上位 20 名の合計 40 名。
 - ③ハードル種目および 3000mSC は 1・2 地区で上位 16 名、3・4 地区で上位 16 名の合計 32 名。
 - ④4×100mR は地区予選会に参加申し込みをした全チーム。
 - ⑤4×400mR については 1・2 地区で上位 32 校、3・4 地区で上位 32 校の合計 64 チーム。
 - ⑥フィールド種目は 1・2 地区で上位 12 名、3・4 地区で上位 12 名の合計 24 名。
 - ⑦男子 5000m・女子 3000mおよび競歩種目は地区予選会を行わず、地区予選会にエントリーした全選手が中央大会に出場できる。
 - ⑧全国 IH に出場する者はシードされ、今大会に参加申込した種目すべて大阪高校総体に出場できるが、この大会には出場できない。参加申込は必ず行うこと。(シード選手がエントリーメンバーに入っているリレーチームもシードされ、今大会に出場できない。)ただし、4×100mR はオープン参加ができる。
※シード権を放棄し出場することもできる。
 - ⑨地区予選会申込時にエントリー数が①②③④⑤⑥の予選会通過人数を下回る場合は全て本大会に出場できる。尚、エントリー数が一方の地区で①②③④⑤⑥の予選会通過人数に満たない場合、もう一方の地区から大阪高校総体出場枠を増やす。
 - ⑩地区順位決定のための抽選を行うことがある。
 - ⑪その他詳細については各地区主任より連絡する。
2. **大阪高校総体の出場辞退について**
- ・大会 2 日目終了後 15 分以内に地区主任に辞退届を提出すること。辞退届の提出なき場合は出場する意志があるものとする。今大会終了後 15 分以降の辞退は受け付けない。

- ・ 辞退届が提出された場合は、各種目記録上位の者から補充する。
ただし、100mは決勝の各組 7 着の中から記録上位者を補充する。
※同記録の場合は抽選とする。

3. リレーメンバーの変更について

中央大会に出場するリレーのエントリーメンバーを、今大会のエントリーから変更する場合は、今大会終了後 15 分以内にリレーメンバー変更届を地区主任へ提出すること。今大会終了後 15 分以降の変更は受け付けない。

(変更のある場合のみ提出すること。変更のない場合は提出しない。)

4. 同記録が出た場合

- ①トラック種目については規則第 167 条に従う (資料あり)。
- ②走幅跳・三段跳・砲丸投については、セカンド、サード記録で決定する。
- ③円盤投・ハンマー投・やり投・走高跳については抽選とする。

資 料

規則第 167 条 同成績

2. (着順ではなく) 時間を元にして 166 条 3 (b) によるランキングの順位が同じ場合は、写真判定員主任は 0.001 秒の実時間を考慮しなければならない。それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。上記規則により 1/1000 秒着差あり、それでも着順が判定できないときは、抽選により中央大会出場者を決定する。

※中央大会の出場者の通知は、連絡事項とともに、8 月上旬を目途に顧問あてにメール送信する。
その内容を確認し参加者一覧表を作成のうえ、原則、大会に参加する初日に提出すること。
なお、大会に関係する追加連絡は、随時、大阪高体連陸上競技専門部 HP に掲載するので随時確認すること。

※中央大会への申込は、地区委員が行うので学校別に申し込む必要はない。ただし、参加料については、個人種目 1 種目 500 円、リレー種目 1,000 円、プログラム代金 1 人 500 円 (出場者責任購入のこと) を後日連絡する振込方法にて期日までに振り込むこと。

以 上

個人情報の取り扱いについて

プログラム記載の個人情報(名前、学校名など)および大会結果は、大阪陸上競技協会、大阪高体連陸上競技専門部の WEB サイト等に記載されますが、本大会関係以外には一切使用しません。